

セミナーのご案内

身体活動疫学

～測定・コホート研究から社会的介入研究まで～

スピーカー： 鎌田 真光 氏 (Dr. Masamitsu KAMADA)

ハーバード大学公衆衛生大学院 社会行動科学科 研究員
国立健康・栄養研究所 身体活動研究部 流動研究員
日本学術振興会特別研究員, 笹川スポーツ財団海外特別研究員



日時： 平成 29 年 6 月 21 日 (水) 14:30～16:00

場所： 医学部教育研究棟 2 階 第 1・第 2 セミナー室

言語：日本語

セミナー概要：

からだを動かすこと（身体活動・運動）は公衆衛生上、重要な意義があります。しかし、その研究手法や社会的対策は、他の健康課題と同様、一筋縄ではいきません。このセミナーでは、日本と米国で私が行ってきた研究を中心に身体活動疫学（運動疫学）の概要をお話します。ハーバード大学公衆衛生大学院内で企画準備中の身体活動疫学に関する nanocourse の内容や、加速度計を用いた米国最大規模のコホート研究、日本の地方自治体でのクラスター・ランダム化比較試験、プロ野球パ・リーグとの共同プロジェクト「パ・リーグウォーク」などについて紹介し、身体活動疫学の「これから」について、皆様と考える機会に出来ればと思います。

スピーカープロフィール：

宮崎県出身。東京大学教育学部身体教育学コース卒業、同大学院教育学研究科修士課程に進学後、2006 年から身体教育医学研究所うんなん（島根県雲南市立）にて行政職員の研究員として地域の健康づくりやスポーツ教育に携わる。2013 年島根大学大学院医学系研究科にて博士号（医学）取得。現在、ハーバード大学公衆衛生大学院社会行動科学科研究員、日本学術振興会特別研究員、国立健康・栄養研究所流動研究員、東京大学大学院医学系研究科公共健康医学専攻客員研究員。身体活動疫学、行動科学、普及実践科学が専門。

<http://researchmap.jp/kamada/>

参加費は無料です。セミナー出席ご希望の方は健康教育・社会学分野 近藤尚己研究室（Eメール kondolab2@m.u-tokyo.ac.jp）へご一報ください。